

平成 21 年 2 月 期中間期連結業績のご報告(その1)

売上高 17.9%減、景気の悪化により、企業の採用意欲の低下が影響

- 売上高は前年同期比 17.9%減の 4,831 百万円、営業損益が同 565 百万円減の 371 百万円の損失、経常損益が同 576 百万円減の 360 百万円の損失、中間純損益が同 401 百万円減の 349 百万円の損失となりました。
- 『DOMO』の売上高は、前年同期比 19.9%減の 4,191 百万円となり、全版において減収となりました。前期から続く国際的金融不安や原燃料価格の高騰を背景とした景気減速の影響により、各企業の採用意欲が大きく低下するなど、想定以上に市場環境が変化したことが大きな要因となりました。
- 今後につきましては、「採用支援サービス本部」を立ち上げ、既存事業ではカバーしきれなかった顧客のニーズに対して新たなサービスを提供するほか、株式会社ピーエイとの業務提携により、収益機会の拡大を図ってまいります。

業績のご報告にあたって

株主の皆さまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期の業績につきましては、8月に下方修正を発表させていただきました通り、売上高において大きく予想と乖離し、中間期実績・通期予想での営業損益も損失計上と、皆さまにはご心配をおかけする結果となり大変申し訳なく思っております。景気の影響を大きく受ける事業ゆえに厳しい状況に直面しておりますが、人材市場におけるサービス転換の好機と捉え、新たな取り組みや展開のスピードを上げて成長を図ってまいります。

下半期からは、成長に向けた2つの新規事業サービスを立ち上げ、スタートいたします。

まず「採用支援サービス本部」では、慢性的な労働力不足が見られる飲食・販売系多店舗展開企業に対して、既存の求人広告サービスに止まらない、人材募集、採用、導入・継続研修という一連の人材関連業務の代行・斡旋サービスを行います。

また株式会社ピーエイとの業務提携では、若年層や正社員未経験層をターゲットにした正社員向けの低価格モバイル商品サービスを展開します。この展開により既存のアルバイト・パート向けの「紙＋ネット」商品サービスから、正社員を対象に広げるとともに、全国を視野に事業展開エリアも拡大してまいります。

新しく取り組む採用支援やモバイルサービスは、人材市場でのニーズが高まる中、確立されていない開発余地の大きい事業であり、当社は既存事業に加えてこのサービスのトップクラスを目指します。

当社経営資源を最大限に活用し、既存事業の枠にとらわれない新たなチャレンジに機動的に取り組むことで、業績を早期に回復していく所存です。今後も引き続き株主の皆さまからのご支援を賜りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

平成 20 年 10 月

代表取締役社長 垣内 康晴

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

平成 21 年 2 月 期中間期連結業績のご報告(その2)

■ 当中間期の業績(平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

百万円	平成21年2月期 中間期実績		平成20年2月期 中間期実績		前年同期比		平成21年2月期 中間期予想 (期初予想)		期初予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,831	100.0	5,884	100.0	△1,052	△17.9	5,703	100.0	△871	△15.3
DOMO	4,191	86.8	5,231	88.9	△1,040	△19.9	5,071	88.9	△880	△17.4
DOMO NET	68	1.4	32	0.5	36	109.9	35	0.6	33	95.3
ESHIFT	—	—	27	0.5	△27	—	—	—	—	—
FP 取次	571	11.8	591	10.1	△19	△3.4	596	10.5	△25	△4.2
売上原価	1,677	34.7	1,964	33.4	△286	△14.6	1,879	33.0	△201	△10.7
販管費	3,524	73.0	3,725	63.3	△200	△5.4	3,717	65.2	△192	△5.2
営業損益	△371	△7.7	194	3.3	△565	—	106	1.9	△477	—
経常損益	△360	△7.5	215	3.7	△576	—	111	2.0	△472	—
税金等調整前	△392	△8.1	96	1.6	△489	—	99	1.7	△492	—
中間純損益	△349	△7.2	52	0.9	△401	—	57	1.0	△407	—
EPS	△¥10.09		¥1.50				¥1.66			

(注1) FP 取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、

税金等調整前:税金等調整前中間純損益、EPS:1株当たり中間純損益

(注2) 『ESHIFT(イーシフト)』は平成 19 年 9 月をもって『DOMO NET』へ統合しました。

前年同期に対して減収減益

当中間期の連結業績につきましては、売上高は前年同期比 17.9%減の 4,831 百万円、営業損益が同 565 百万円減の 371 百万円の損失、経常損益が同 576 百万円減の 360 百万円の損失、中間純損益が同 401 百万円減の 349 百万円の損失となりました。

売上原価は、売上高の減少により、印刷費が同 17.9%減の 1,001 百万円、労務費が同 24.0%減の 80 百万円となり、全体で同 14.6%減の 1,677 百万円になりました。販売費及び一般管理費は、『DOMO NET』の認知度向上のための広告宣伝費を積極的に投入しましたが、流通費等の削減をもって相殺し、同 5.4%減の 3,524 百万円となりました。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

企業の採用意欲の低下により『DOMO』事業は苦戦、特別企画や新サービスで収益機会を拡大

主力事業である『DOMO(ドーマ)』の売上高は、前年同期比 19.9%減の 4,191 百万円となりました。前期から続く国際的金融不安や原燃料価格の高騰を背景とした景気減速の影響により、採用費を削減する動きが多くの企業で見られ、媒体を利用した求人募集が著しく減少したことが大きな要因となりました。

また、有効求人倍率の低下により、一つの募集広告に対する応募数も全国的に増加傾向にあります。企業が人材を確保しやすい状況になったため、出稿回数の減少も見られます。

主な版での売上高につきましては、首都圏版では前期に引き続き大手人材サービス業からの掲載が減少を続けている上、消費者の購買意欲の低下により、前期好調であった飲食・販売業からの出稿にも減少が見られ、同 24.0%減の 1,036 百万円となりました。

横浜版につきましては、中堅の飲食・販売系チェーン企業からの出稿の落ち込みをカバーしきれず、同 32.3%減の 272 百万円となりました。

静岡3版につきましては、とりわけ西部版において、原燃料価格の高騰により大手製造業からの出稿が前期以上に減少していること、また中部版において、景気減速の影響を大きく受けた飲食・販売・サービス業からの出稿が減少したことから、同 15.4%減の 1,882 百万円となりました。

名古屋版につきましては、中心街では依然ナンバーワンの広告掲載件数を誇っていますが、製造業の減産、景気減速の影響による飲食・販売・サービス業を中心に出品が減少し、同 14.5%減の 550 百万円となりました。

大阪版につきましては、これまで主要顧客であった人材サービス業からの出稿の落ち込みが大きく、さらに飲食・サービス業に関しても景気減速の影響を受け出品が減少し、同 11.8%減の 338 百万円となりました。

『DOMO NET』につきましては、『DOMO』と完全一体型商品として販売しているため単独での売上は大きく見込んでおりませんが、『DOMO NET』で上位表示されるタイプアップ販売や、トップページから直接求人広告にリンクを貼るバナー広告の販売、そして『アル恋』や地域ごとの特別企画の販売により同 109.9%増の 68 百万円となりました。

連結子会社である株式会社リンクが行うフリーペーパー取次事業につきましては、住宅関連を中心としたフリーペーパーの廃刊等により同 3.4%減の 571 百万円となりましたが、配送効率・要員計画の見直しによるコストダウンの結果、前年同期比で増益となりました。

厳しい市場環境の中、「既存事業の強化」として、『DOMO』では特別企画の販売、『DOMO NET』モバイルサイトのリニューアルを行い、より読者に選ばれる媒体へ近づけてまいります。さらに、10月1日に「採用支援サービス本部」を立ち上げたほか、今後は株式会社ピーエイとの業務提携により、新たに合弁会社、子会社を立ち上げるなど、「地域展開への取組み」「新規事業の開発」を推し進め、新サービスによる顧客満足度の向上、収益機会の拡大を図ってまいります。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

平成 21 年 2 月 期中間期連結業績のご報告(その4)

連結業績予想(平成 21 年 2 月 期 通 期、平成 20 年 8 月 18 日 修正 発表)

百万円	平成21年2月期 通期予想 (修正予想)		平成20年2月期 通期実績		前年同期比		平成21年2月期 通期予想 (期初予想)		期初予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成	増減額	増減率
売上高	9,537	100.0	11,748	100.0	△2,211	△18.8	11,644	100.0	△2,107	△18.1
DOMO	8,303	87.0	10,459	89.0	△2,156	△20.6	10,335	88.8	△2,032	△19.7
DOMO NET	129	1.4	63	0.6	66	104.5	82	0.7	47	57.9
ESHIFT	—	—	27	0.2	△27	—	—	—	—	—
FP 取次	1,104	11.6	1,197	10.2	△93	△7.8	1,226	10.5	△122	△10.0
売上原価	3,292	34.5	3,889	33.1	△597	△15.4	3,783	32.5	△491	△13.0
販管費	6,597	69.2	7,234	61.6	△636	△8.8	7,202	61.9	△604	△8.4
営業損益	△353	△3.7	623	5.3	△976	—	658	5.7	△1,011	—
経常損益	△336	△3.5	654	5.6	△990	—	669	5.7	△1,005	—
税金等調整前	△368	△3.9	526	4.5	△894	—	656	5.6	△1,025	—
当期純損益	△220	△2.3	296	2.5	△516	—	386	3.3	△607	—
EPS	△¥6.36		¥8.55				¥11.17			

(注1) FP 取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、
税金等調整前:税金等調整前当期純損益、EPS:1株当たり当期純損益

(注2) 『ESHIFT』は平成 19 年9月をもって『DOMO NET』へ統合しました。

■第3四半期決算発表予定日のお知らせ

平成 21 年 2 月 期 第 3 四 半 期 決 算 発 表 予 定 日 は、12 月 下 旬 を 予 定 し て お り ま す。当 社 ホ ム ペ ー ジ で は 決 算 発 表 予 定 日 な ど IR 関 連 の ス ケ ジ ュ ー ル を 掲 載 し て お り ま す の で、イ ン タ ー ネ ッ ト に 接 続 で き る 環 境 に あ る 方 は ぜ ひ ご 活 用 く だ さ い。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、電子メールアドレスのみで登録が可能な「ニュースメールマガジン」では、ホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしております。こちらもあわせてご利用ください。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300